



第84回定期地方本部大会発言要旨

組織拡大・労働条件改善の闘いを

地域の仲間と共に公共交通を守ろう

定広代議員（倉敷地区）



分会組合員が年々減少し、組織拡大が急務となつてく

る。ラインなどで連絡をとる。短時間で執行委員会を開催してきた。全員集会をする現状が難しいの中で、懇親会を開催し、分会組合

佐藤代議員（福山地区）



若手青年が退職している。賃金が安いからという理由でした。国労

市川代議員（倉敷地区）



無人化、非対面化の駅が増え、駅職場・電気職

員の親睦と団結を強め、組織拡大を積極的に取り組んでいく。中国統括本部について人員削減に焦った施策だ。そして、サブキャリア制度は本来業務に穴があくのではないのか。人員削減にならないのか。

書記長集約



も物販を頼んでいるが、二つの団体に分かれたが今後どう対応するのか。

小林代議員（岡山運輸）

組織拡大では、メンテナンス職場で2名ほど組合に興



味を持つているが加入には至っていない。会社は、セクハラなどに適正な対応をすべきだ。

組織強化・拡大

新しい闘争指令が発せられ、国労組織のあり方についても議論されています。10年間に国労全体で約300名の組織拡大がありましたが退職者の数に追いつかず、厳しい実態にあるのは現実の問題です。

憲法改悪反対、反原発、平和を守る

岸田首相は、憲法9条の改悪に向けて加速する動きを見せ、そして、核兵器禁止条約への不参加、原発再稼働の動きなど危険な方向に進む政府の動きがある。地域の仲間と共に取り組んでいきたい。

2023春闘

22春闘は、収入源となる中でベアゼロ・ボーナス低額回答となった。この実態に対して若手退職が後を立たない状況がとまりない。国労としての目に見える

駅無人化反対宣伝行動

日時 2022年10月29日（土）
行動内容 午前中 支部行動
第一支部 新倉敷駅周辺
第三支部 笠岡駅周辺
午後 全体行動
13時～ 倉敷駅南口



片岡代議員（岡山工務）

自治体において、JR線の存在、利便性、乗車促進、駅前整備などが行われている。今

後も邑久駅行動を中心に継続的に奮闘していき、地域の仲間との共闘行動を進展

小野代議員（岡山連合）



JALの現在の状況を教えてほしい。分会で他労組合員に

JRの安全輸送の確立、人減らし合理化反対、労働条件改善・権利確立

JRは、「駅の無人化」「ローカル線廃止に向けた動き」などさらなる効率化と要員削減を強行されている。交通弱者に目を向けた運動を継続して取り組む。

2023春闘

22春闘は、収入源となる中でベアゼロ・ボーナス低額回答となった。この実態に対して若手退職が後を立たない状況がとまりない。国労としての目に見える